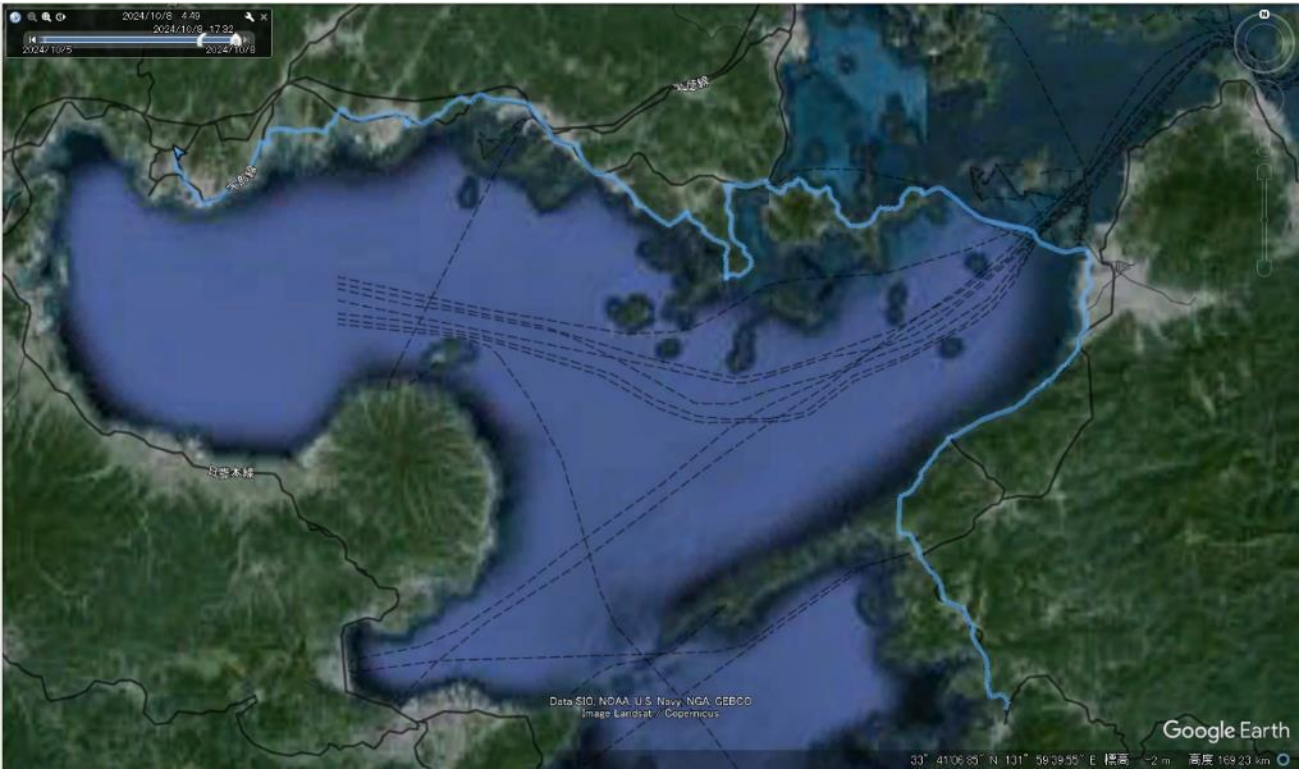


☆4日目（10月8日）：宇和島から宇部まで



行程地図（4日目）_記録 OLYMPUS TOUGH TG-6

今日は、フェリーで本州に移動することもあり、早朝の出発となった。5時前となると夏と違ってまだ暗いし、今日も天候は不安定なので、あまり海岸線の細い道は走れないので、県道25で八幡浜まで出て、国道378で海岸線を走った。本州側に前線の雲の境目が見える。



写真 77. 日の出前の県道 25



写真 78. 瀬戸内海の上に前線の雲



写真 79. 時々ぱらっと小雨



写真 80. 網掛岩（大洲市）が見えた

国道 378 を走っていると、急にきれいな砂浜が現れた。道の駅「ふたみ」だった。恋人岬やモアイ像などがあった。ここは、夕日がきれいなので「夕やけこやけライン」と呼ばれているので、赤とんぼの碑もあった。



写真 81. 道の駅「ふたみ」



写真 82. 恋人岬のオブジェ



写真 83. 恋人の聖地碑とモアイ像



写真 84. 夕焼け小焼けの赤とんぼの碑

夕焼け小焼けの作詞者は八王子出身なので、八王子には「夕やけ小やけふれあいの里」があるが、瀬戸内でも盛り上がっているとは知らなかった。この辺では、サッカーアニメの「アオアシ」柄の自販機をよく見かけたが、こちらは作者が松山在住で、愛媛県内で盛り上がっているらしい。



写真.85 夕焼け小焼け歌碑



写真 86. 「アオアシ」柄の自販機

松山市に近づくと目に付くオレンジ色の憎いやつ！「IYOTETSU」の電車とバス。



写真 87. 伊予鉄の踏切待ち



写真 88. 松山三津港の伊予鉄バス

天候がいまいちだったので、寄り道が少なかったのも、三津港にはだいぶ早く着いたので、周りを散策。こども、高校生の時一人で柳井港までフェリーに乗った港なのだが、全く記憶にない。当時正岡子規の句碑は無かったような気がする。今日は、柳井港までは乗らず、途中の周防大島（正式名称は屋代島）の伊保田港で降りて陸送する。この航路は愛媛の松山から山口の岩国まで繋がっている国道 437 の一部を担う国道フェリーである。



写真 89. 松山 三津港



写真 90. 小さな港です



写真 91. 子規が同じ季節に詠んだ句

何時乗ってもフェリーは、なんかワクワクします。こんな、マイナー航路でも、バイクは3台乗船。船内には、柳井名物の「金魚ちょうちん」が飾られていて、いい感じ。まだ、雑魚寝の船室もあってレトロ感もある約1時間の船旅。



写真 92. 「しらきさん」号が入港した



写真 93. 珍しくセンタースタンド掛けさせられた



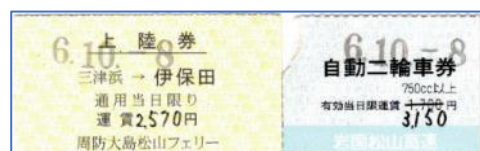
写真 94. バイクは、3台乗船



写真 95. 四国を後にして出港



写真 96. 柳井市の民芸品「金魚ちょうちん」



[乗船チケット]

瀬戸内の島々を縫って、山口県に向かう。途中で、柳井から来る「おれんじぐれいす号」と、行き違った。



写真 97. 島を縫って本州に向かう



写真 98. 「おれんじぐれいす号」



写真 99. 防予フェリーの航路

定刻に伊保田港に到着。天気が怪しいので、乗船のために脱いだ合羽を港近くの「戦艦陸奥記念館」の駐車場で再着用した。



写真 100. 「戦艦陸奥記念館」



写真 101. 柵に船艦陸奥のすかし

乗ってきたフェリーが、柳井港に向けて出て行くのが見えた。細長い周防大島の海岸線を走る国道 437 は、海面近くを走る低い国道だった。



写真 102. 「しらきさん」号が柳井に向かう



写真 103. 国道 437 は海拔 0m?

海岸線を約 35 キロ走ると本州と繋がる大島大橋が見えてきた。思ったより狭い橋だった。



写真 104. 大島大橋を望む



写真 105. 大島大橋を渡る

大島大橋を渡った大島から国道 188 で柳井方面に進んだ。柳井化学工業の金魚ちょうちん柄の煙突がおしゃれだった。柳井過ぎてから、県道 72 で室津半島の海岸線を南下した。



写真 106. 金魚提灯柄煙突



写真 107. なかなか雲が取れない室津半島

上関大橋をわたり、長島に渡って、すぐに引き返し室津灯台を横目に道の駅「上関海峡」に入った。山口に来て気になるのが、ガードレールが黄色いこと。



写真 108. 上関大橋を渡る



写真 109. 低い位置に室津灯台がある

道の駅では、新鮮な魚が沢山売られていた。観光客と言うより、近郊の地元の人が買いに来ている感じだった。丁度お昼だったので、ここで刺身定食を食べた。値段の割に刺身の盛りは少なかったが、味は良かった。



写真 110. 道の駅「上関海峡」



写真 111. ヤズ（ぶり）1,540 円



写真 112. アジ 3 匹 300 円前後



写真 113. 刺身定食 1,700 円

県道 23 で北上、南周防大橋を渡り、国道 188 を西に向かった。途中山陽本線と平行しているところもあった。



写真 114. 南周防大橋を渡る



写真 115. 山陽本線

途中の道の駅「潮彩市場 防府」に寄ったが、市場の中にある道の駅という感じ。一服してすぐに出発。



写真 116. 潮彩市場



写真 117. 道の駅「潮彩市場 防府」

道の駅の近くに巨大メバル形遊具のある「メバル公園」があった。子どもには、面白そうな公園だ。



写真 118. メバル公園



写真 119. 防府市内通過

防府市内を抜けて、県道 25 から、県道 338 の道の駅「あいお」に立ち寄った。ここでは、車海老で有名だが、生き海老をお土産に送っても調理が大変なのでやめた。また県道 25 に戻り、榎野川の河口に掛かる周防大橋を渡った。

橋からは、「やまぐち富士商ドーム」の白い屋根が見えていた。



写真 120. 周防大橋を渡る



真 121. 河口の対岸にドームが見える

橋を渡ってすぐに県道 221 を南下して道の駅「きららあじす」に立ち寄った。ここも、軽く休憩してすぐに出発。国道 190 を南下して海岸線を走って、途中県道 220 に入って宇部空港の前を通過した。



写真 122. 道の駅「きららあじす」



写真 123. 山口宇部空港入り口

宇部は、宇部興産の企業城下町で、細い入組んだ旧道で渋滞。残念ながら観光都市ではない。



写真 124. 昭和色出しているお菓子屋



写真 125. ホテルの部屋から駐車場が見える

宿は、駅近の典型的なビジネスホテル「宇部ステーションホテル」。朝食付で 5,300 円。駐車場は、部屋から見える裏の駐車場の片隅。夕飯は、近くの関東にもあるチェーン店の「来来亭」。地元の名物が食べられなくて残念。



写真 126. 窓から見た宇部の町



写真 127. 客室

夕飯の後、駅まで散歩。宇部駅は思ったより小さく殺風景。なぜか「八王子」行きバスが走っていた。東京の八王子は有名だが、宇部にも同じ地名があるようだ。



写真 128. ホテルのエンタランス



写真 129. 宇部駅



写真 130. なぜか、八王子行きのバス

本日は、さえない天候の中、宇和島から宇部まで 350 キロ越える大移動だった。明日は好天に期待！